

鳴門市まちづくりデザイン会議

第4回

議事

- (1) 前回の振り返りと現状報告
- (2) まちのコア・都市機能とコンテンツ
- (3) 2つの東西の都市軸
- (4) 川の活用方法
- (5) 街なかでの社会実験
- (6) 今後の会議の進め方



令和7年12月2日
鳴門市役所2階大会議室

第3回会議の概要

①前回の振り返りと現状報告

第3回 鳴門市まちづくりデザイン会議を開催

第2回デザイン会議にて提案のあった中学生へのアンケートのほか、都市構造と都市軸、まちのコアと周辺の関係について議論しました。最後に今後のロードマップ案を提示し、未来ビジョンの策定していくことを説明しました。

参加委員：内藤座長、永易委員、林委員、森下委員、河野委員、西谷委員、黒崎委員、池田委員、安宅委員(欠席)

現状報告

中心市街地での100円商店街プラス・納涼市・阿波踊りのイベント状況を報告
本年度より実施している「リノベーションまちづくり」推進事業について報告

- ・リノベーションの講演会は、若い人も多く、すごい皆さん関心を持たれているのを感じた。
- ・アクションを起こして、定着させなければいけない。まちづくり全体の中に何らかの形で組み込んで、別途フィードバックする話があったほうがいい。
- ・駐車場を活用する、駐車場1台でも始められる、そういう活用方法など目のつけどころが違うと感じた。
- ・講演会のなかでも、土地に価値無し、エリアに価値あり、ということで、やっぱり小さなエリアでも、志をもっている方が一つ一つ変えていくことによって街の空気が変わっていく。
- ・リノベーションしていった、点を線にしていくにはどうしたらいいのか、先は長い大きな一歩と思う。
- ・空き家問題は、全国的にクローズアップされた問題、補助金などの活用を確認したほうが良い。



リノベーション
講演会の様子

第3回鳴門市まちづくりデザイン会議 議事録 概要版

会議の日程

- 第1回 令和7年3月24日(月) 済
- 第2回 令和7年6月13日(金) 済
- 第3回 令和7年8月9日(土)
13時半～15時半
鳴門市役所2階大会議室
- 第4回 令和7年12月2日 予定



第3回会議の様子

アンケート結果の報告

本年6月～7月に実施した市内中学生対象のアンケート結果を報告

対象者：市内中学校に在籍する中学生

調査内容：放課後や休日の行動実態 駅周辺等の利用状況や要望、
鳴門市への愛着など

回答件数：1,135件(回答率81%) ※ 結果の詳細は、会議資料2を参照

○中学生はどこで遊ぶ？

- ・高校生に比べ、鳴門市内で遊ぶ子の割合が高い
- ・遊ぶ場所では、「友達の家」や「公園・広場」の回答も多い
→ 低予算で気軽に友達と滞在できる場のニーズ

○どんな機能が欲しい？

- ・おしゃれもいいが、安心感と安全面が大事。
→ 親が安心できる場所だと中学生も寄りやすい？
- ・友達と気軽に集まれる、一緒に勉強などができるフリーなスペース

○鳴門市のことは好き？

- ・9割以上の生徒が鳴門市のことが好きだと回答
→ 今後も鳴門市と関わりたいという意欲をもっている生徒が多い。家族、友達の存在や鳴門の自然の豊かさなど魅力が愛着につながっている。
- ・将来について、「まだ考えていない」生徒も一定数存在。
→ これからの経験や環境次第で、鳴門市との関わり方が大きく変わる可能性がある。まちへの愛着を育てる取り組みを続けていくことが重要。

【アンケート結果を受けての意見】

- ・実際にどこで勉強しているのかが気になる。
- ・今の若い子のリアルなところを把握しておいたほうがいい。身近なところで聞いてみて。
- ・自由に使える場所が場所が必要だという意見があるが、一方では空き家が多い。
- ・お金がかからないそういうフリースペース、提供したりWi-Fiとか、過ごせる場所が欲しいという要望は圧倒的に多い。
- ・遊んだりくつろいだりするのメインだけど、中高生の真剣勝負は勉強する場所ではないか。
- ・家で一人で勉強する時も携帯電話で繋いでいる。競い合いよりみんなでの時代になってきているのでは。
- ・携帯で繋がればいいのかではなく、集まる場所があれば集まる。無いから、繋いでいるだけ。
- ・商店街の実験では、現役の高校生は集まって勉強するところは欲しいというのは、皆が言う意見である。
- ・図書館などで何人が集まって、勉強して、そのあと遊びに行く流れ。地区の公民館的なものがあれば良い。
- ・子供が集まる場所が無い。友達の家では迷惑が掛からないかと心配、フリースペースがあれば助かる。
- ・空き家でも公共でも使うには管理責任の問題がある。その問題を解決しておかないと、今若い子が本当に欲しいものにこたえられない、そこはちゃんと議論する。市役所内でまとめておく必要がある。
- ・フリースペースは管理が大変。市役所の一角とか常に管理している場所で出来ないのか。
- ・情報化社会はどんどん進むが、コミュニケーションや出会いは地域にとって大事。つながる場所を用意すべき。
- ・情報環境や生活環境にしても変わってきているので、集まれる環境を用意するのは役目ではないか？
- ・管理の問題はあるが、本当に若い子は自由にしてあげたいし、自由な場所をたくさん作ってあげたい。

第3回会議の概要

①前回の振りかえりと現状報告

都市構造と都市軸 街のコアと周辺の関係

都市軸と都市構造について、都市軸の強化例、街のコアと周辺との関係性、コアの位置の考えかた、ウォーターフロントの活用案などについて説明し、都市軸と連動したゾーニング案を提示し説明

- ・全部がいきなり変わるんじゃなくて、いい風が吹き始めるかなっていうその風を吹かせることができるか。
- ・交通ネットワークを、きちんと設置することによって、新しい形ができるのではないかな。それが鳴門の活性化に繋がればいいなと考える。
- ・車線を減らす、椅子を置く、芝生を植える、マルシェをするというところなので、**まず絵を描いてみる、妄想してみるということをすべきだろう。**
- ・鳴門公園とか大麻の一番札所とか、観光地には土日結構人がいるんですけど何故か駅に本当に人がいないというような状況である。駅あたりに、人を流れや人が集まってくると自然に、お店とかも増えてくるのでは。
- ・車線を片側1車線に減らして、ウォークアブルシティの実証実験を、鳴門でもやってみてもいいのでは？
- ・斎田鳴門駅線は、過去では誰もが通る通りであったが、非常に寂しくなり、まちの様相が変わってしまった。まちの顔として手が入ると、今よりも絶対良くなっていく。
- ・**撫養川は県管理、県の港湾など、ここにどれくらい打ち解けてもらえるか結構大事。**
- ・撫養川でサップとかカヤックができるようなサービスがあれば、まちなかだから景勝地のようなになるのでは。
- ・東浜第2公園のあたりを釣り堀にしたらいいんじゃないか。東京のまちなかにもある。
- ・デザイン会議には、**商売の専門家、もあれば観光の専門家、交通の専門家がいます。いろいろお話をしながらこのゾーニング案にちょっとでも近づいていけるようにしたい。**
- ・不動産の観点として、エリアの中でも早急にどういふところの土地が必要になるかはある程度目星をつけていったほうがいい。



都市構造図



ゾーニング図

- ・下手に土地の単価が上がると事業がしにくくなって、また衰退の道に入るといふこともある。
- ・撫養川は両岸で考える。まち側から見た反対側は風景となるところである。
- ・連続立体交差は時間かかる。区画整理事業とともに動くことが常で10年から15年ぐらいかかる。それで間に合うか。頭端駅から考えても案の中にも含めない方がいい。
- ・駅の移転に関しては、JRにとっては、大問題。話をもっと深めたほうがいい。
- ・都市軸とコアについて、わかりやすく、具体的に今後進めたほうが良い。
- ・基本的に都市計画マスタープランのロジックに乗っかっている。また、立地適正化計画の理屈にも乗っかっているのでもいいと思う。

未来ビジョン

今年度の会議の内容をまとめた「鳴門市まちなか未来ビジョン」の素案を令和7年度中に作成することを説明

未来ビジョン:エリアの将来像を官民の多様な人材が共有できるようイメージ化

- ・都市に関する技術的な議論、未来ビジョンの作成、国の政策確認などについて、専門的な検討・調査が必要となるため、9月議会に補正予算として計上を説明。
- ・型通りのものにならないよう、出来る限りは内製化でやれるところはやってもらいたい。
- ・社会実験についても検討を進めて行く。



イメージ案図

今後の検討・議論の方向性

- ・今年度のロードマップを提示。年度内にあと2回ほどの会議を開催しながら未来ビジョンの策定を進める。
- ・アンケートの結果は回答者に発信し、対話を繰り返していく。
- ・次回は、都市機能とコンテンツや川の活用方法のほか、社会実験などについて議論を進める。

これまでの会議で議事録や資料については、市公式ウェブサイトをご覧ください。右のQRコードからも閲覧できます。



次回は、12月頃を予定しています。ウェブサイト・広報紙にてご確認下さい。

現状報告 「跡地活用と新スポーツ施設」

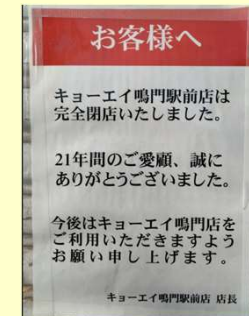
鳴門センター街ビル跡地について・新スポーツ施設について

【鳴門センター街】

駅西の中核商業ビルであった鳴門センター街ビルは、本年5月に基幹店舗を含む全ての店舗が退去し、その活用方法を所有者である鳴門センター街が検討を行っています。そういった中で、市からの補助金を活用して、所有者が建物の除却を進め、市に土地を提供するスキームを提案することとしております。

【新スポーツ施設】

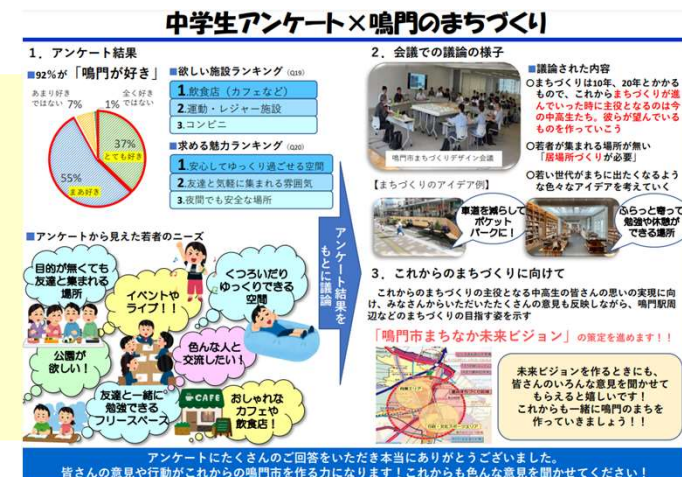
本年3月に策定しました新スポーツ施設（体育館＋プール）基本構想は、新たなスポーツ施設の建設候補地として、ポートレース鳴門西側敷地が望ましいとしていましたが、まちなかでの整備を求める意見もあることから、中心市街地での整備について再検討を行うこととしています。



アンケート結果の送付

第2回・第3回のデザイン会議で発表したアンケートについて、学校を通して、その結果をお返しいたしました。

また、これからのまちづくりについて、今後も継続して、アンケート等を実施し、必要なコンテンツなどのニーズ調査を行うとともに、その要望からまちなかに望むものを作っていくとのまちづくりの考えをお伝えしました。



現状報告 国交省意見交換会 中学生授業

まちづくり・住まいづくりに関する市町村長との意見交換会（10月27日）

四国地方整備局にて、国土交通省都市局・住宅局とまちづくりについて意見交換を行いました。

鳴門市のまちづくりの状況について説明を行い、「エリアビジョンの共有」「人を呼ぶイベントの必要性」「空き地の暫定利用」などについて意見交換をしました。

また、国土交通省からは、まちづくりファンドの事例や地域資源を生かしたまちづくりなどの情報提供が行われました。

そのほか、空き家対策についても意見交換を行いました。



中学生によるまちづくりの研究・提案（11月18日・26日）

第二中学校において、社会科地方自治の授業からまちの現状や課題を議論する「まちづくり研究授業」が開催されました。

この授業では、大道銀天街でウォーカブルな街を実現するためのイベントを提案するもので、各グループにおいて検討し、生徒から発表がありました。

案には、フードフェスなどの飲食系の企画から、腕相撲、ダンス大会、まちなかでの人生ゲームなど、多様な提案がありました。

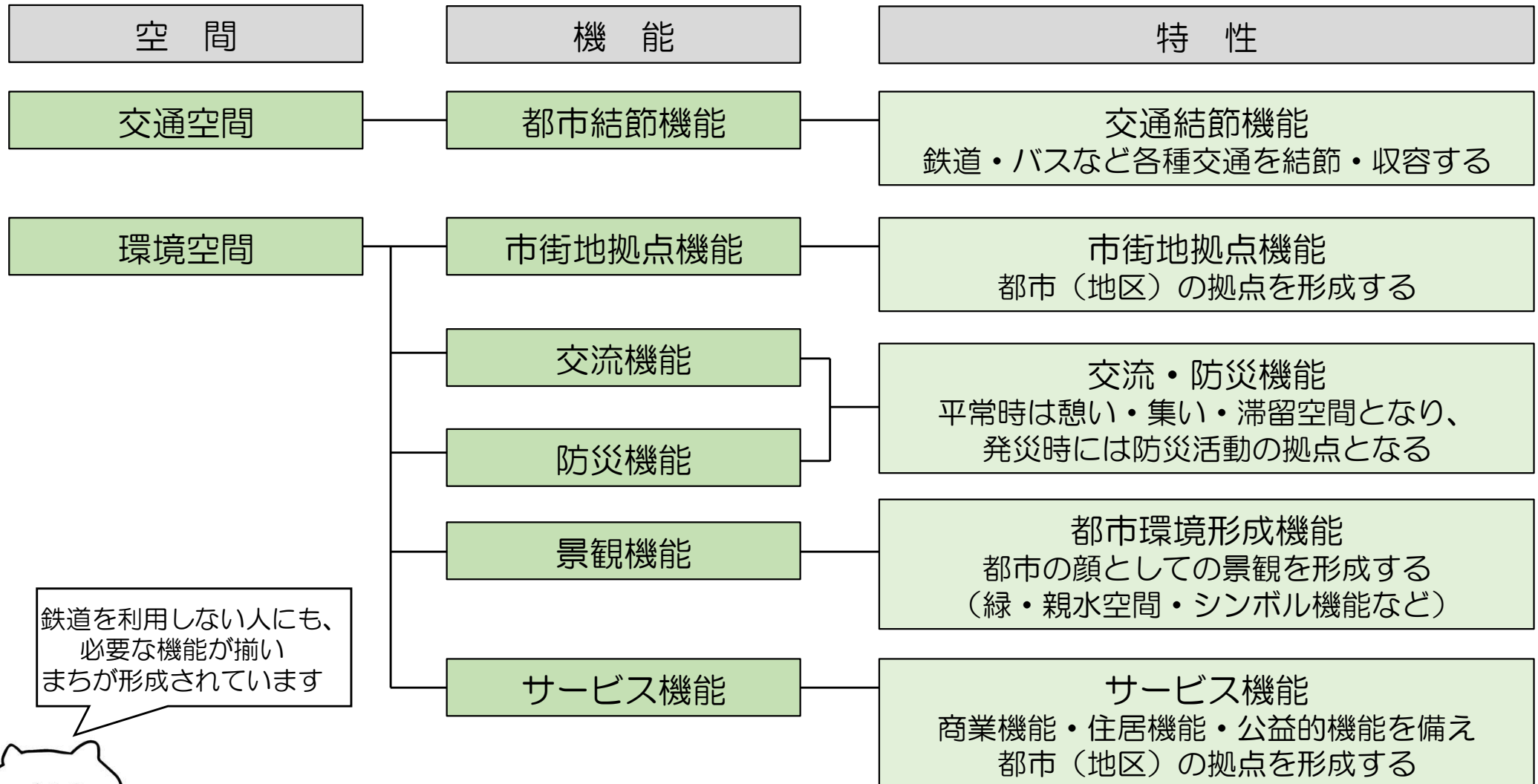
また、その提案に対し、商店街のメンバーからご意見を伺うほか、市からも意見をお話ししました。



駅まち空間の機能

駅前広場の機能

参考：駅前広場計画指針



鉄道を利用しない人にも、
必要な機能が揃い
まちが形成されています



まちの規模・形状・形態等に応じた機能を配置

駅まち空間と周辺市街地に必要な機能

参考：駅まちデザインの手引き

機能 \ 空間			駅まち空間				周辺市街地
			駅空間		駅前空間		
			改札内	改札外	駅前広場	駅隣接地区	
交通空間	交通結節機能		コンコース	コンコース	バス乗降・タクシー乗降 一般車乗降 駐車施設（自動車・自転車） 乗換のための歩行者空間	駐車場 駐輪場	サイクルポート
			ホーム	通路			シェアモビリティポート
			昇降施設	駅務室			フリンジパーキング※
			駅務室				
環境空間	市街地拠点機能	交流機能 防災機能	待合場	待合場	人々の滞留スペース・公共広場 災害時の一時避難場所	公開空地 供用部	公園
				休憩スペース			避難所・一般滞在施設
		都市環境形成機能	地域性や象徴性のある駅舎		親水空間（噴水・水盤） シンボル施設（モニュメント） グリーンインフラ（シンボルツリー・芝生）	公開空地 供用部	緑のネットワーク （街路樹・緑道）
							シンボルロード
		サービス機能	トイレ	切符売り場	交番・トイレ 通信（Wi-Fi） 公衆電話 行政窓口・観光案内所	商業・業務 住宅等	図書館・公民館
			通信（Wi-Fi）	観光案内所			交流施設・文化ホール
				運行掲示板			郵便局・物産店
				トイレ			観光支援施設等

※フリンジパーキング
中心部の外側に駐車場を
計画的に配置し、中心部へ
の車の乗入を抑制するもの

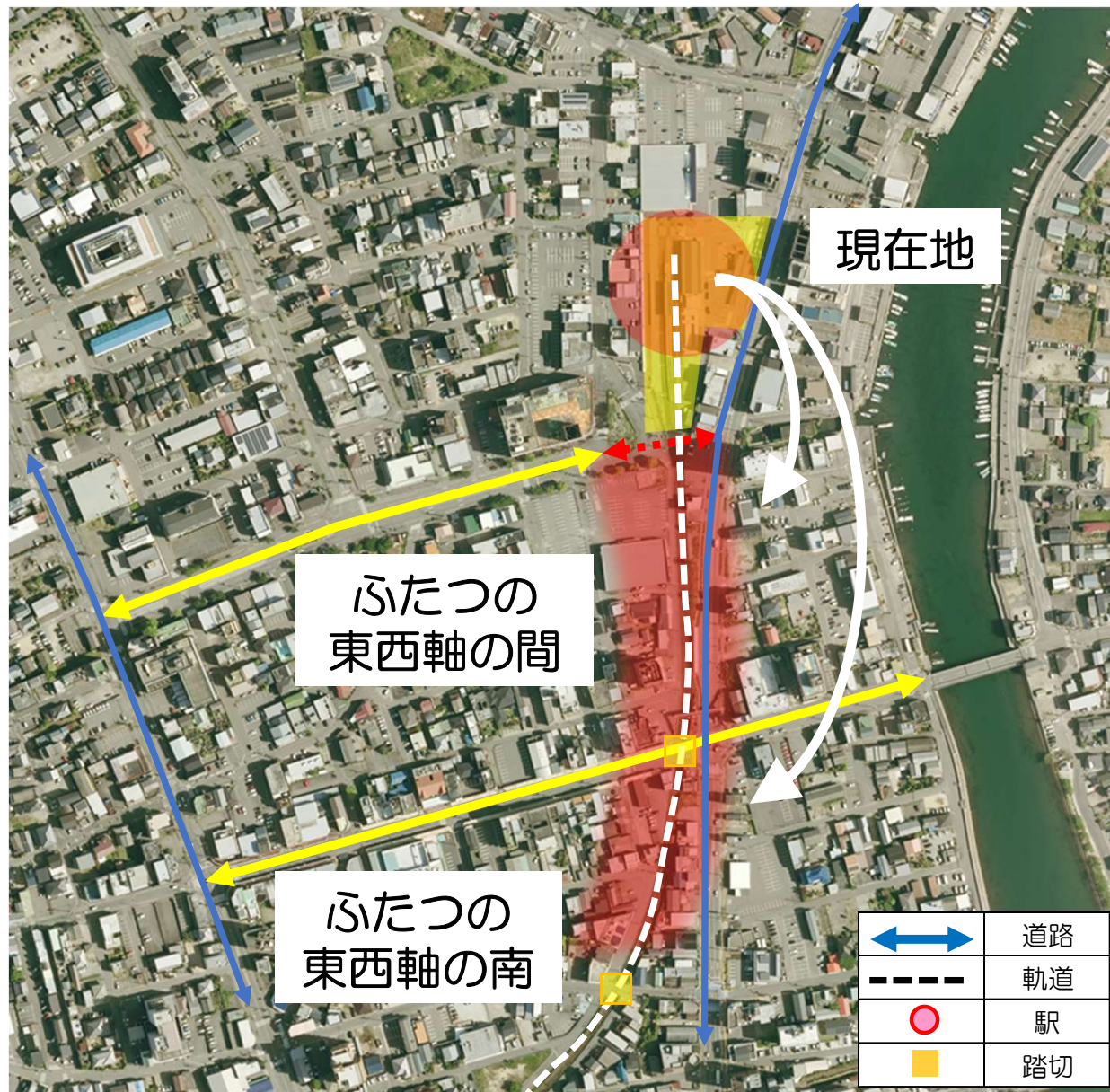
駅空間・駅前空間・周辺市街地が空間を共有し、機能を連携

デザイン会議で考える駅まち空間とは



駅空間・駅前広場・駅隣接地区
いわゆる「コア」

まちのコアの位置を考える



コアが どの場所にあれば、
都市構造が活性化し、
民間投資を誘引できるか



【第3回会議】での提案

- ① 現在地で西向き
- ② ふたつの東西軸の間
- ③ ふたつの東西軸の南

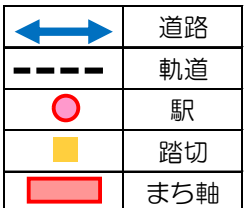
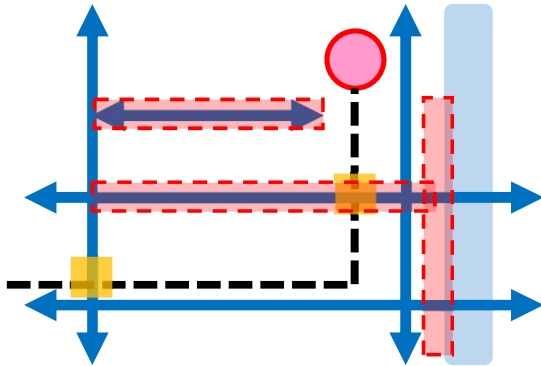
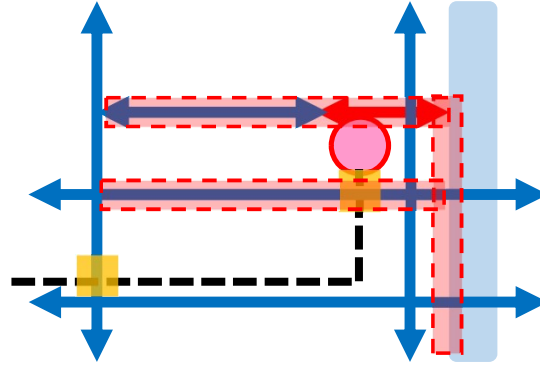
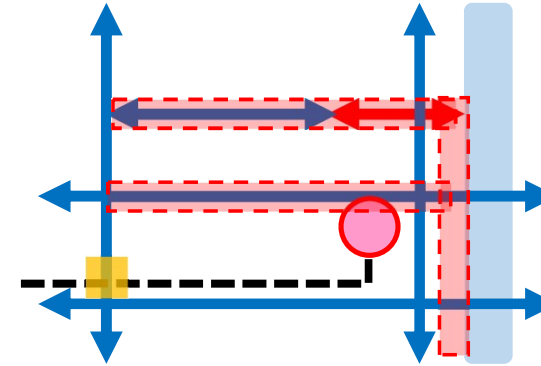
検討要件

- ・ 駅とまちの関係性
- ・ 駅と道路の関係性
- ・ 交通結束機能の確保
- ・ 鉄道の技術的可能性
- ・ 周辺の発展性



①-③案を比較

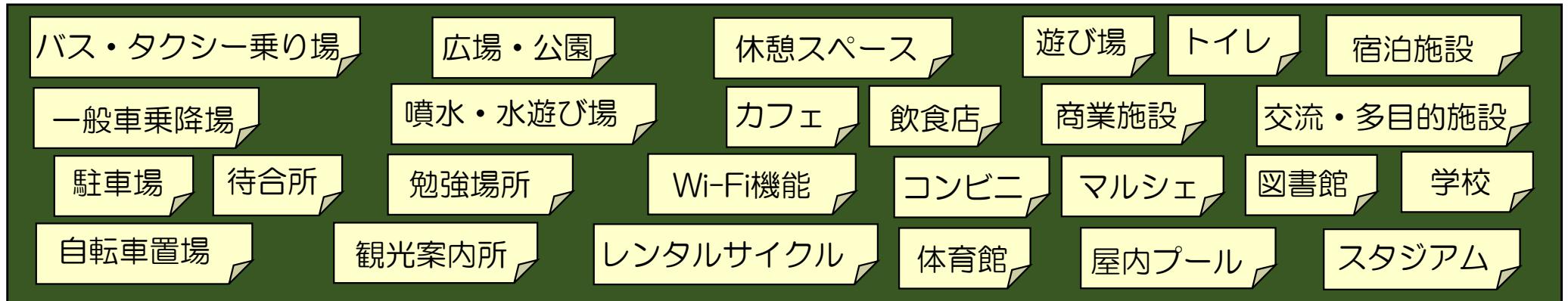
まちのコア位置比較検討案

検討案	現在地で西向き	ふたつの東西軸の間	ふたつの東西軸の南
<p>都市構造図</p> 			
概要	現在の位置で、新たに西向きの駅舎を新設し、駅西側への人の流れを強化する。	斎田鳴門駅線と南側、2つの東西軸の間に駅舎を新設し、商業区域への新たな人の流れをつくる。	商店街南東部の斎田撫養駅線と接する位置に駅舎を新設し、商業区域への新たな人の流れをつくる。
駅とまちの関係性	<ul style="list-style-type: none"> 西向きにて、まちの連携性は強化される。 コアは北に片寄ったままである。 	<ul style="list-style-type: none"> 2つの東西軸の間に入り、影響を与えられる。 コアがまちの中心に近づく。 	<ul style="list-style-type: none"> 2つの東西軸の南隣、北側の東西軸とは若干離れる。 コアがまちの中心に近づく。
駅と道路の関係性	<ul style="list-style-type: none"> 現状と同じ 	<ul style="list-style-type: none"> 北の東西軸が国道と接続する 	<ul style="list-style-type: none"> 北の東西軸が国道と接続する。 南の東西軸から踏切が除かれる。
交通結束機能の確保	<ul style="list-style-type: none"> 既存の駅前施設（バス停等）の利用が可能であるが東向き。 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな施設の設置もしくは、既存駅施設の利用の選択となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな駅前施設を商店街集近辺に設置する必要がある。
鉄道の技術的可能性	<ul style="list-style-type: none"> 現状と同じ 	<ul style="list-style-type: none"> 駅設備の移転の検討 <p>鉄道に関する技術検討を実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> 駅設備を曲線部に設置する検討 踏切の撤去
周辺の発展性	<ul style="list-style-type: none"> 既存駅西隣接部の開発 	<ul style="list-style-type: none"> 既存駅用地が新たな用地 撫養川沿いへの波及効果 	<ul style="list-style-type: none"> 既存駅用地が新たな用地 軌道撤去後の緑道及び遊歩道開発 撫養川沿いへの波及効果

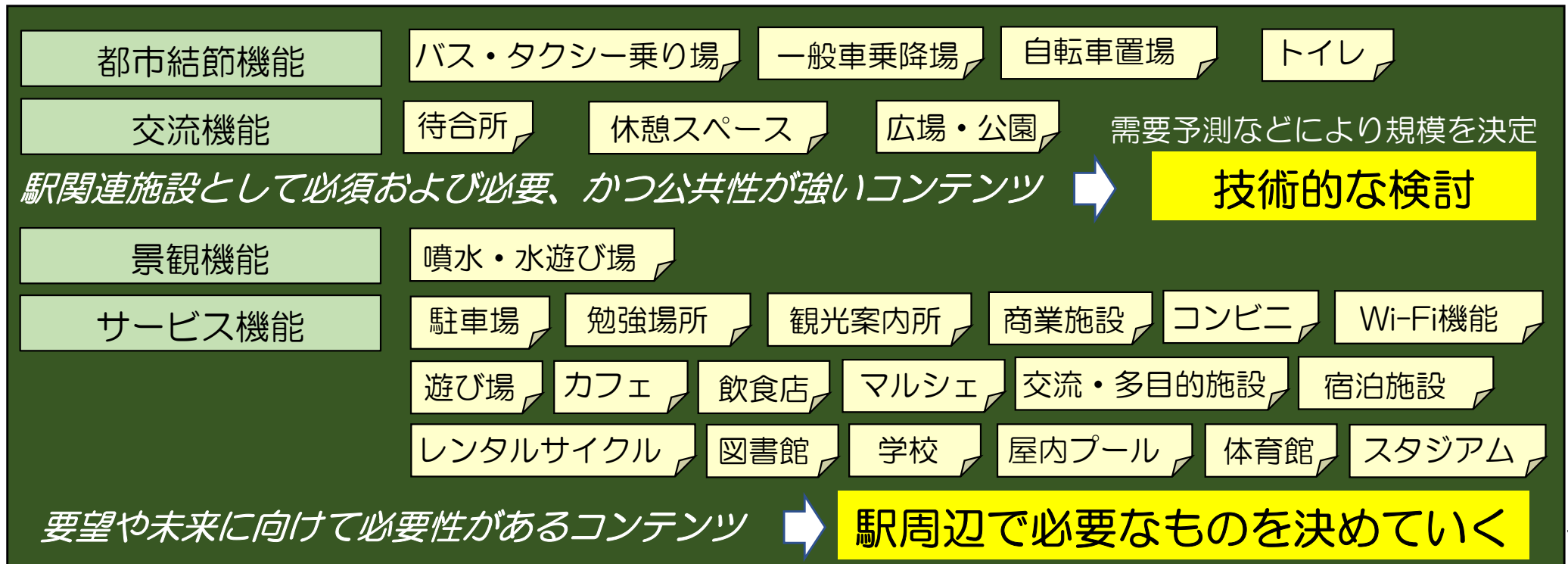
技術検討などを踏まえ、今後議論を進める

駅まち空間で必要となるコンテンツ

P.7 駅まち空間で必要と考えられるコンテンツ 鳴門市の場合



分類すると



駅まち空間の使いかた

まちに対してどのような声があるのか

これまでの意見・アンケートなどから抜粋

中学生

何かして遊ぼうぜ

子育て世代

天気がいいから
どこかで遊ばせたい

観光客

電車が来るまでに
いいお土産買えるかな



コンビニで何か買って
一緒に食べようぜ



そのついでにちょっと
休憩したいなあ



鳴門の名産
食べたいな

楽しいことないかな

ホテルは近くがいいな

高校生

時間待ちにワーク
を仕上げたい

高齢者

ちょっと散歩に
行こうかな

ビジネスマン

お昼は何食べようか



友達と学校の話の
続きがしたい



ゆっくりしたいな



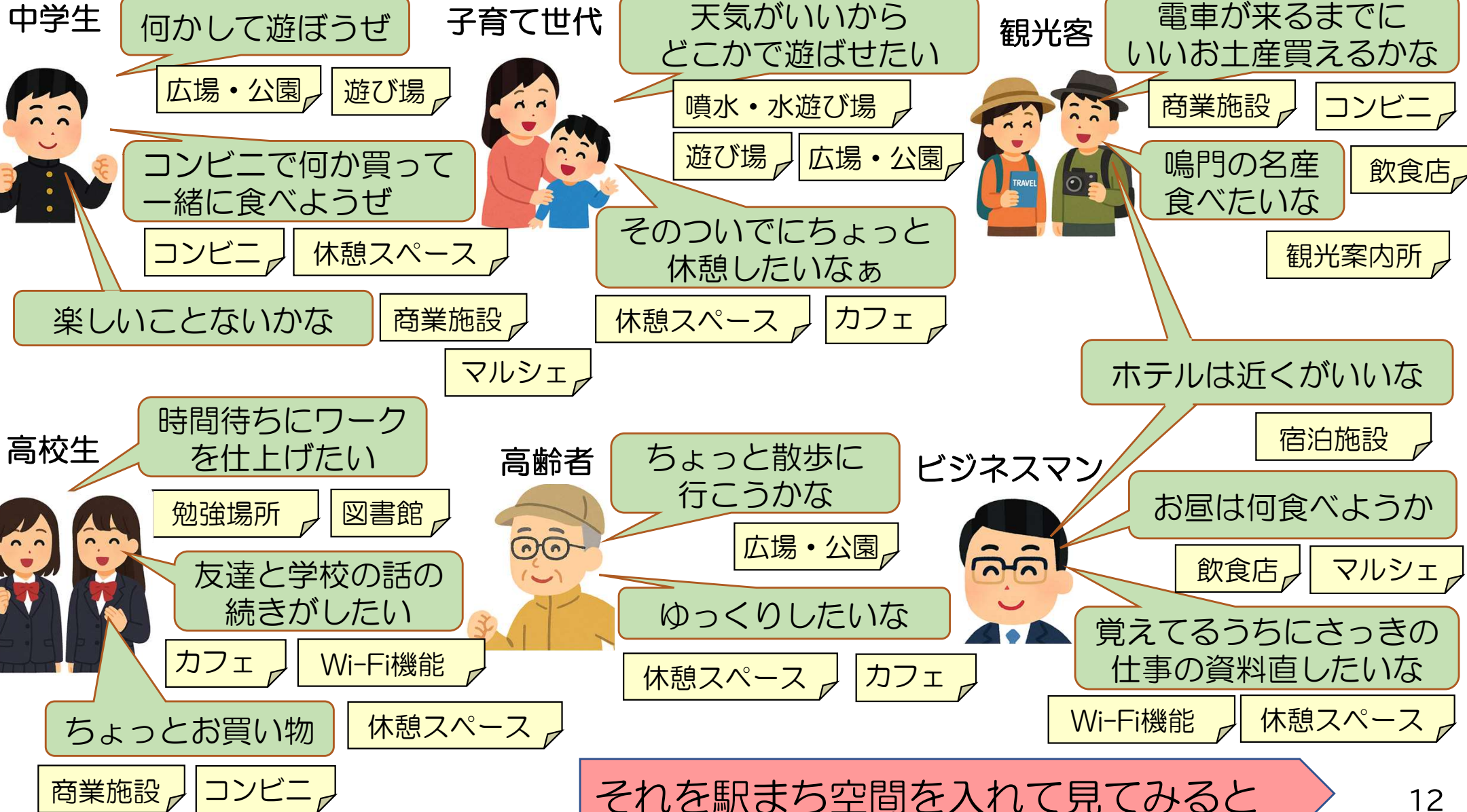
覚えてるうちにさっきの
仕事の資料直したいな

ちょっとお買い物

これらの声に対応するコンテンツとは

駅まち空間の使いかた

みんなの声がどのコンテンツに当てはまるのか

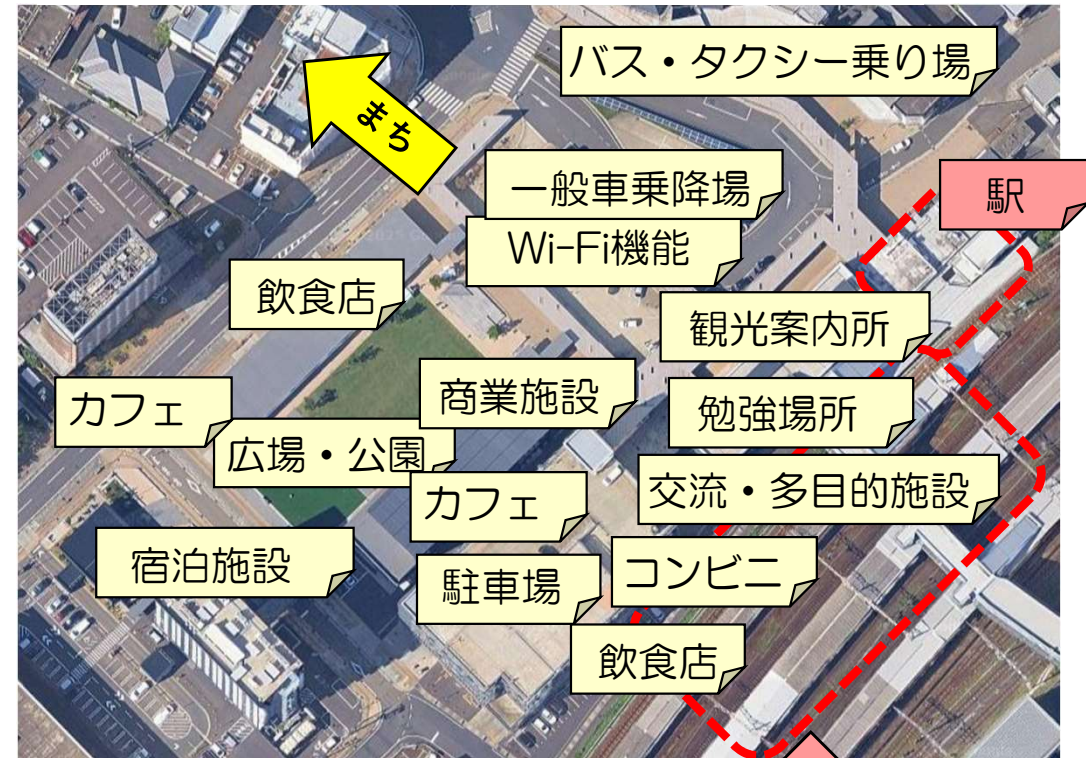


他市町でのコンテンツ事例

鳴門駅（人口5.3万人）



敦賀駅西口（6.0万人：駅施設OTTA）

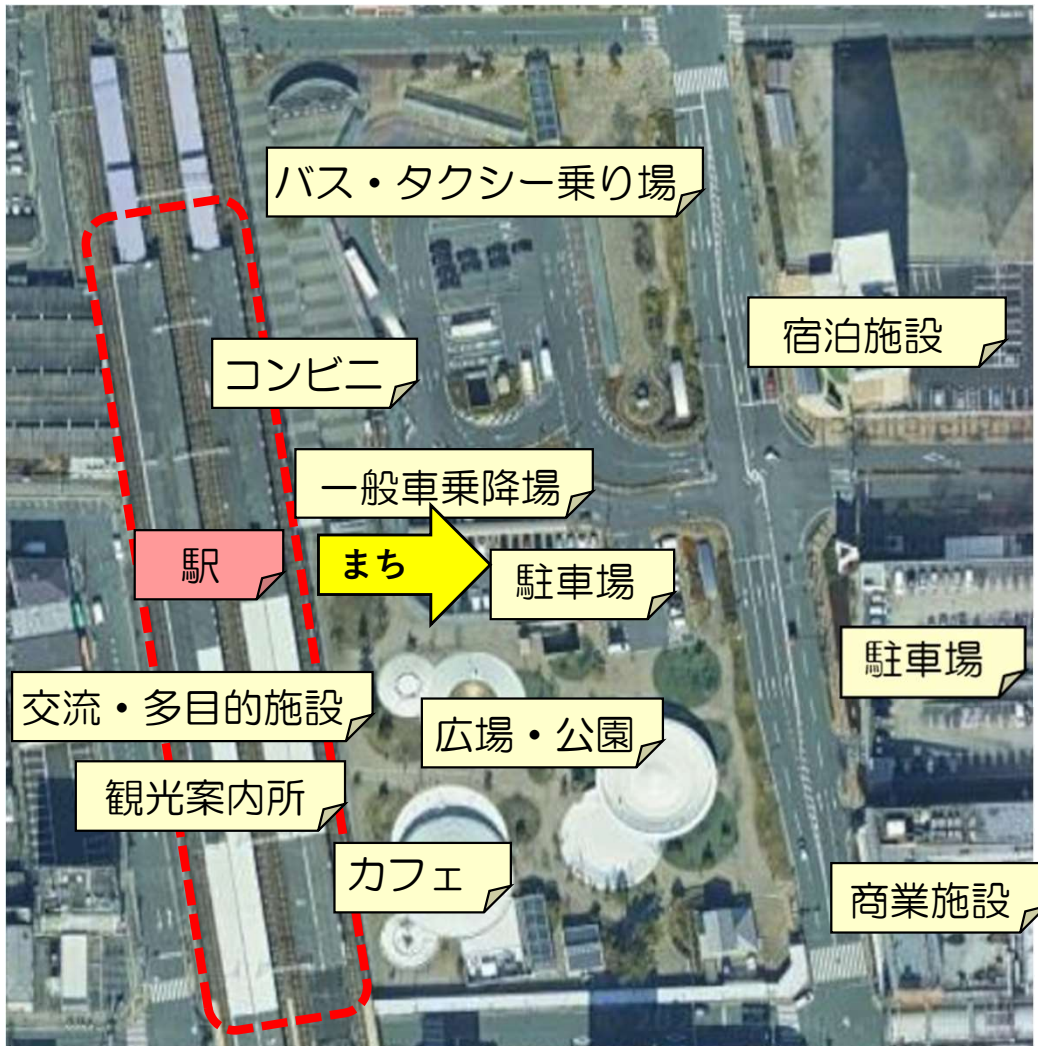


まちを向いた方向の
200m角のエリアの中に
コンテンツが装備されている

声に対するコンテンツが
備えられていない

他市町でのコンテンツ事例

天理駅（5.9万人：駅施設コフフン）



延岡駅（10.9万人：駅施設エンクロス）



近年の駅前整備の事例からも同様の状況が見て取れる

都市機能とコンテンツ例

広場・公園

広場＝芝生＋カフェ 自由な時間の使い方ができる場所



徳島県内でも



近年の駅前での定番的存在、座る場所や水盤などを設置し、人を寄せ集めるアイテム

都市機能とコンテンツ例

カフェ

好みは様々、若い世代が求める+個性とは



スターバックスコーヒー



Holly's Cafe



サンマルクカフェ

大手チェーンから地元店など様々な形態がある中で、鳴門市中心部で必要なテーマは？

カフェ+本

学び+交流 親和性のあるコンテンツ



「くつろぐ」・「学ぶ」
「話せる」・「楽しむ」が
包括された施設とは？

時間待ちがある駅との親和
性も高く、その配置につい
ても検討

左：いがまち図書室
中：渋谷 森の図書館
右：周南市徳山駅前図書館

都市機能とコンテンツ例

Wi-Fi機能

通信+充電機能など、時代流れに合った設備を



丸亀市・マルタス



市役所3階

Wi-Fi設備の重要性

- ①インターネット接続が必要な場合：大容量データの送受信、動画視聴、ダウンロードなど、通信料節約・高速通信の場合に必要
- ②外国人観光客への対応：訪日外国人の不満点の1つ、公衆Wi-Fi需要有

充電設備の重要性

- ①バッテリーの重要性：長時間屋外で活動する際は、バッテリー切れは通信手段が無くなります。
- ②安全や緊急時の役割：緊急時の連絡手段として携帯電話が必要な場合、電話やメッセージ、位置情報共有などが可能

頻繁にデータ通信を必要とする状況ではWi-Fi設備が重要
充電設備はより普遍的に重要なコンテンツ

情報版などデジタル設備と併せて、情報利便性を高める

トイレ

清潔・防犯・多様性 + 防災 多機能

左：神戸市東遊園地
中：新名神高速 宝塚北SA
右：渋谷区 七号通り公園



THE TOKYO TILET

トイレは日本が世界に誇る「おもてなし」文化の象徴として、「誰もが快適に使用できる公共トイレ」をコンセプトに16基を設置

まちのイメージを左右するコンテンツ 満足度の向上を念頭に整備

都市機能とコンテンツ例

交流・多機能施設

用途は様々、各人に合わせた使い方

丸亀市・マルタス



天理市・コフフン



駅施設内の南
団体待合所の
未利用期間を
一般に開放。
観光案内の機
能も受け持つ
施設

延岡市・エンクロス



さらに **体育館** の機能も包括することや

鳴門市民会館のように「まちの集まり」的な機能も合わせた、まちの

会所

近世日本で町人衆の
会・催し物・寄合が
行われた場所

見附市・ミツケル



燕三条市・えんがわ

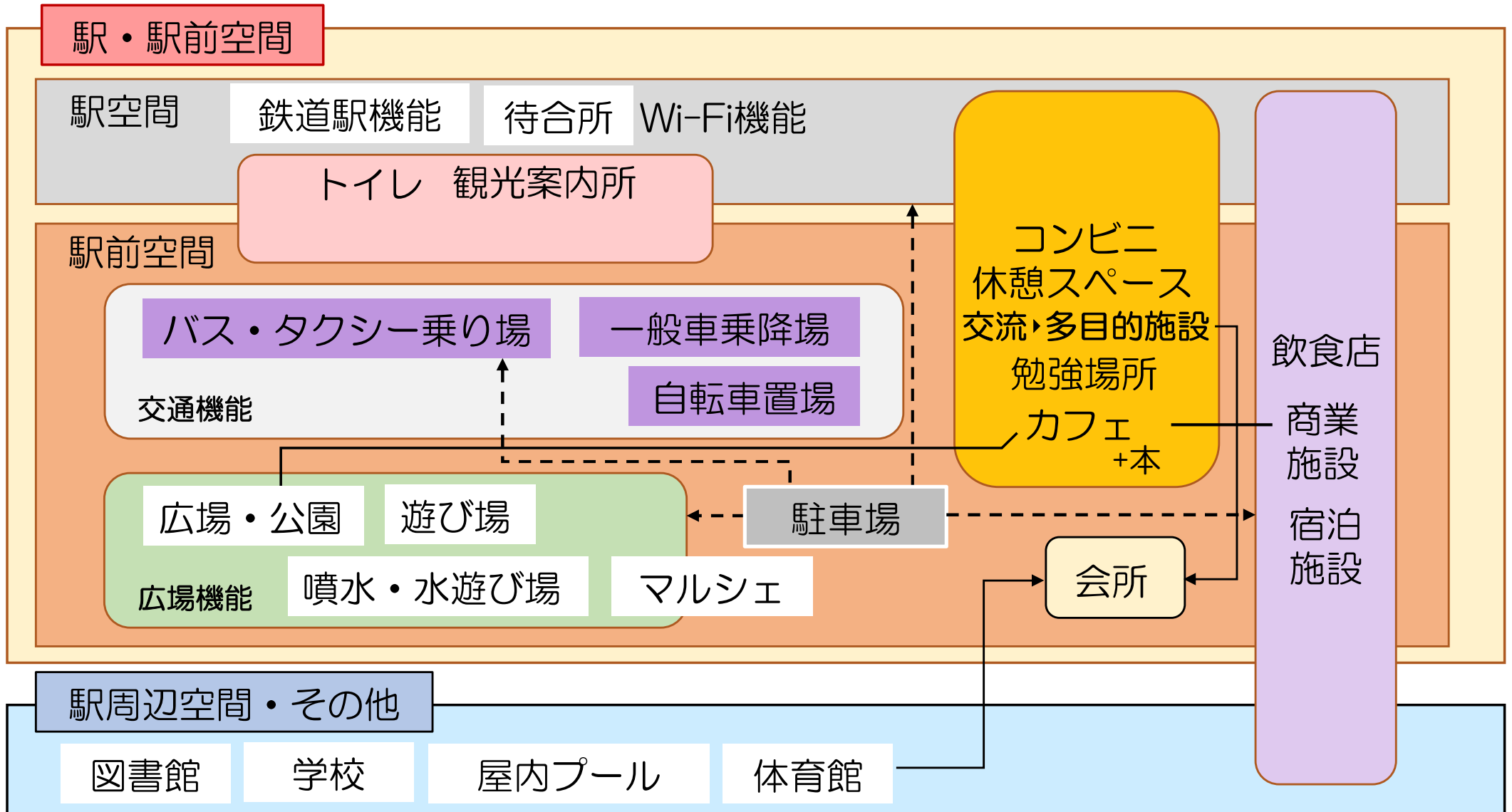


社会実験より駐輪場の2階を利用した多目的施設を整備

全天候型の縁側付き広場として多目的な使用が可能

まちの中心で様々なイベントや広場機能の補完的役割を担う

コンテンツの模式図



まちの構造を捉えながら、コンテンツの種類・位置・規模、そして内容を詰めていく

コンテンツの事業の手法(官民連携)

コア部分は、交通結束機能のほか、
地域交流や賑わいの創出を担う機能の整備が必要

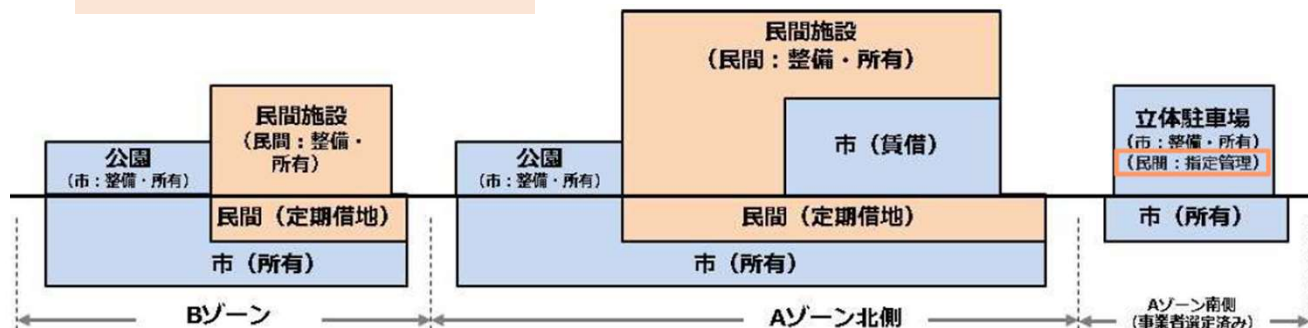
公共のみで整備・運営するには、財政負担の増大が課題

公共と民間のそれぞれの強みを生かして協働する
「官民連携による拠点整備」の導入検討が必要

実施例：敦賀駅西地区土地活用による係る官民連携

土地区画整理事業で生まれた広大な市有地の整備と民間活力の導入により、駅周辺の一体的基盤整備を行っている。

整備スキームイメージ



官民連携による拠点整備の主な手法

【定期借地権】

用地の一部に定期借地権を設定し、
権利金を活用し残りの用地に公共施設整備を行う方式

【PFI事業の付帯事業】

PFI事業の付帯事業として、民間事業者
に用地を貸し付け、民間事業を実施させる方式

【公共財産の貸付】

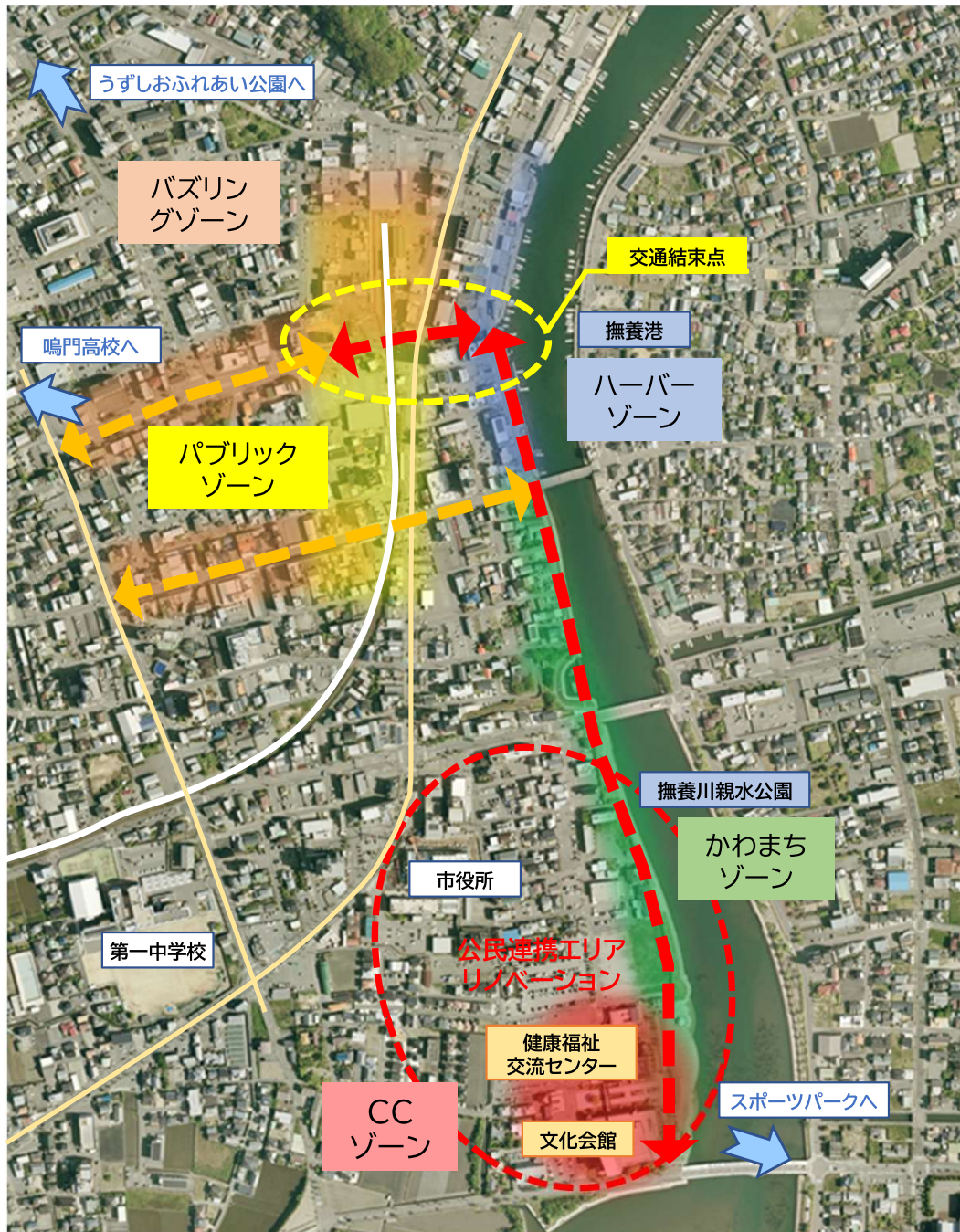
公共施設を整備し、一部を民間事業者
に貸し付ける方式

【民間施設の賃借】

民間施設の床の一部を市が借り上げる方式

本市のコア部分に合った手法の検討を進めて行く

前回のおさらい(都市軸とゾーニング案)



まち区域

バズリングゾーン
様々な活動による活性化ゾーン
イベント広場・チャレンジショップ・
アクティビティゾーン・無料駐車場



パブリックゾーン
まちの顔となる交通結末点
新駅舎・駅前ロータリー・駅前広場・
案内所・土産売場・交流公共施設



かわ区域

ハーバーゾーン
海と歴史を繋ぐ撫養港ゾーン
港湾倉庫リノベーション・親水施設・
ポケットパーク・水上交通発着点



かわまちゾーン
撫養川沿いの親水と癒しのゾーン
水辺癒し空間・公園・野外ステージ
川沿いイベント空間



CCゾーン
文化cultureと
子育てchildcareのゾーン
鳴門市文化会館・健康福祉交流センター



都市軸

終着駅から始まる
海へとつながる
新しい鳴門の物語



都市軸・大道銀天街を考える

○ 現在の商店街の状況



【現在の状況】

- ・片側1車線であるが広い路肩を付帯
歩道にはアーケードが設置されている
- ・交通量は1,200台/12h
- ・店舗のほとんどが、店舗兼住居であり、閉店
している場合でも、階上に居住している場合
がある
- ・100円商店街や納涼祭を実施している

【第3回での課題】

- ・イベント時などは、安心して置ける駐車場が必要では？
- ・空き店舗を活用するには？
- ・イベント以外の日も、人が商店街を歩くには？

官民連携・リノベーションに
+ハードで活気のある街へ

インキュベーション施設の設置

まちなかで事業をしてみたい

店を持ちたい

若い世代の“やりたい”を応援するための施設として、大道商店街内のコワーキング
スペース「うずコワーク」内でインキュベーション施設「UZULAB」を運営

- ①スタートアップ企業の集積
- ②起業・創業の相談等支援、セミナー開催
- ③アントレプレナーシップ(起業家精神)教育の推進
- ④キャリア支援

「インキュベーション施設」

スタートアップや起業・創業を目指す方々が、安心して挑戦できるよう、
さまざまなサポートを提供する場所
鳴門市では、ここに「地方創生2.0」の視点を加え、『若い世代が「起業」
をテーマに気軽に集まれる場所』として運営

空き店舗や休止店舗を利活用し、商店街に流れを呼び込む

都市軸・大道銀天街を考える

駐車場・空き地の活用

街ににぎわいを出したい

地域経済の活性化を目的に、駐車場や空き地を活用
 土地所有者：活用による収益化
 まち：店舗活動等での地域活性化
 活用者：チャレンジできる場所

互いに利点

福山市中央公園Park-PFI事業「NIWASAKI Fukuyama」

公園を使った実証実験を積み重ね、調査と手応えから、地元事業者と市民の手によるチームにて、民間資金を活用し、公園内を整備・管理している。

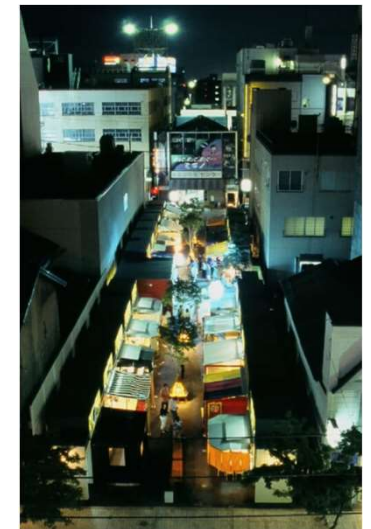


・Park-PFIとは
 平成29年の都市公園法(昭和31年法律第79号)改正により新たに設けられた、飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定

帯広市 北の起業広場 「北の屋台」

地域経済の活性化を目的に、駐車場スペースを実験的に屋台として活用
 契約期間は3年で、屋台を卒業後は市内の空き店舗に移って独立することで商業の担い手を育てる

- ・土地所有者は安定的な収益
- ・電気・ガス・上下水道が整備された衛生的環境
- ・新しい出店希望者に、チャレンジしやすい体制が構築
- ・まちなかの魅力が向上し、周辺店舗への来客数も増加



互いにwinの関係から始まるまちづくりのモデル

都市軸・大道銀天街を考える

リノベーションまちづくり

店を持ちたい

リノベーションまちづくり推進事業にて 7月5日にキックオフ講習会を開催。
1月に第2回講習会を実施、令和8年度のリノベーションスクール開催へ向けて、機運醸成を図る。

・空き店舗所有者と新規出店者を繋ぐシステム、
リノベ出店者への立ち上げ支援等の検討

大和郡山リノベーションまちづくり

R1・R2スクールから
R3にはまちづくり株式会
社が発足し、商店街の空
き店舗をリノベーション
し、カフェや土産店など
が開店し、活性化を図っ
ている。



まちの空き店舗をリノベし、新しいまちの風を吹き込む

教育関連との連携

まちなかで活動したい・できる場が欲しい

空き家・空き地を活用し、教育関連部門とのフィールドワークや学外教育と連携のほか、学生たちをまちなかで受け入れる「教育寮」についても検討するなど、まちなかに若者が滞在する状況を作り出す活動が考えられる。

三好市地域みらい創発センター（ミライケ）



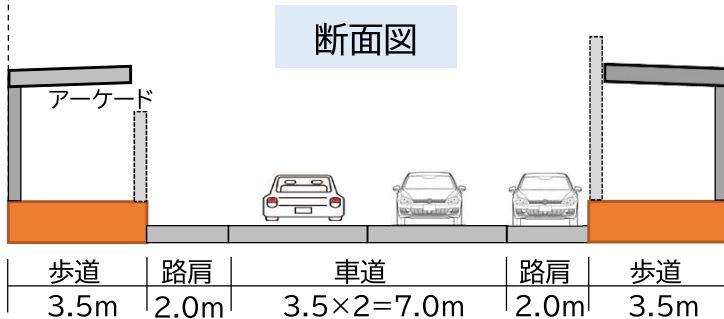
高校生の寮と地域の方々の利用スペースが併設されている複合施設で、子どもから高齢者まで幅広い世代が集い、学び・交流する拠点となることを目的としている。

まちに住む、居住+教育からの活性化

商店街のイメージを変えるハード面の対策は？

都市軸・大道銀天街を考える

現在の形状



【道路幅員】

現況は3.50mと標準であるが、地方都市・交通量を考慮すれば縮小が可能では
地域バスや路線バスの通行がある

【歩道幅員】

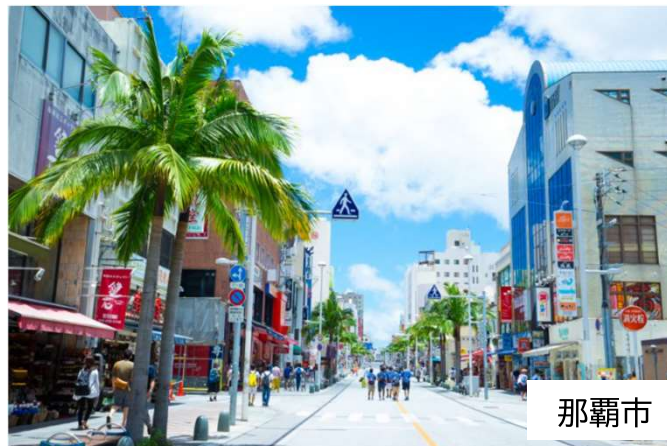
3.5mとやや広い設計、両側ともにアーケードが設置されている
阿波踊りの開催を考慮すると、歩道の3.5mは必須 逆に車道はやや狭めてもOK？

【電柱】歩車道境界に設置され支障、地中化の検討



これからの商店街のイメージをどのように考えるか

○ 例えば・・・ウォーカブルな商店街のイメージ



- ・ 車との共存、歩行者中心のインフラ整備
- ・ 緑地やオープンスペースの拡充
- ・ 施設の徒歩圏内への配置(無駄に歩かない)

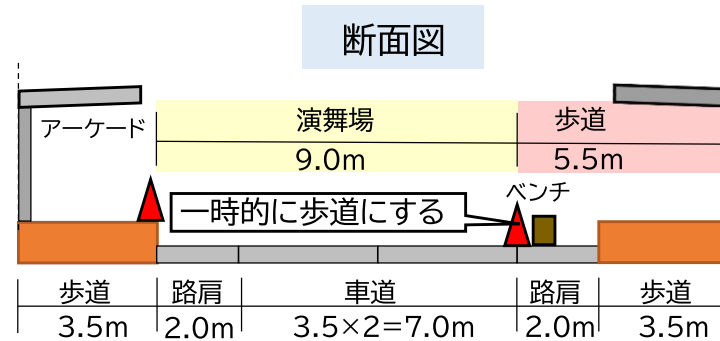
- ・ 治安と安全性の確保
- ・ 地域の特徴を生かしたまちづくり

都市軸・大道銀天街を考える

① 阿波踊りVer.案

阿波踊りの日は歩道が大混雑で歩けない

座って踊りを見たい・
子供は座らせたい



全面車両通行止めの中で、一時的な使い方の改善から模索

② アーケードについて

アーケードは必要か

全国的なアーケード撤去の流れ

- ・鳥取県米子市
- ・神奈川県横浜市
- ・広島県呉市
- ・和歌山県和歌山市
- ・三重県津市



多くは全蓋式
経年劣化や老朽化
維持費の増大
消防法の影響



商店街アーケードの必要性

アーケードのメリット

- ① 天候保護: 雨や強い日差しから歩行者を保護し、買い物や散策が快適に行える
- ② 地域の魅力向上: アーケードが特定のアイデンティティを形成し、商店街の雰囲気作りや集客の働きかけにつながる可能性がある
- ③ 安全性向上: 照明を設置で夜間の歩道の明るさが確保され、安全性が向上する

アーケードのデメリット

- ① 維持管理の負担: 老朽化した際の修繕や清掃にかかる費用や作業負担が大きい
- ② 日光の減少: 日光を遮るため、日中は周囲の店舗に影響を与えたり、暗い雰囲気になったりする可能性がある



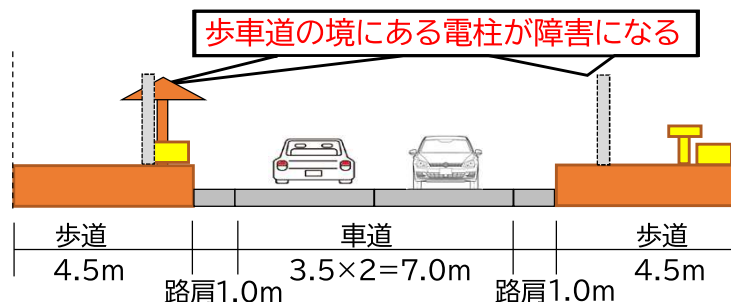
駐車場が隣接してあればアーケードが無くても影響は少ないが、
夜間の照明が無いと、夕方以降は暗いイメージだけでなく、
防犯上も良くないのでは

都市軸・大道銀天街を考える

③ 歩道の拡幅・ベンチ設置・電柱地中化案

ゆっくり買い物がしたい

休憩場所が欲しい



路肩の駐車場は、やはり必要では？

例えば、電柱を地中化した場合のイメージ

現状



地中化イメージ図



空が見えて
街なみがすっきり



徳島市は、国道だけでなく徳島駅前・新町橋通り・両国橋通りなどで電柱の地中化を実施済

電柱地中化の必要性

現在、鳴門駅～市役所の国道28号で実施

電柱地中化のメリット

- ① 通行空間確保：歩道が広く使え、ベビーカーや車いすでも安全に利用しやすい
- ② 都市災害の防止：台風や地震などの災害時に、電線の垂れ下がりや電柱が倒れるのが防がれ、ライフラインの確保や緊急車両の妨げとならない
- ③ 都市景観の向上：電線類が見えなくなるため、美しい街並みが形成される

電柱地中化のデメリット

- ① 高コスト：電柱を建てる場合と比べて費用が数倍必要であるほか、工事が長期である
- ② メンテナンス性：管理や修理の難易度が高く、コストも高額、故障時の対応の遅れが懸念
- ③ 土地の制限：地価の土地利用に制限かかる場合、将来的な開発に影響の可能性

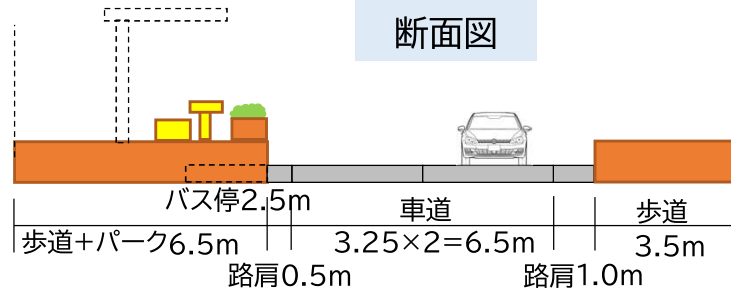
電柱の地中化は、景観向上と空いたスペースの活用でイメージアップが図れるかも

都市軸・大道銀天街を考える

商店街のイメージを変えてみたい

人が集う空間が欲しい

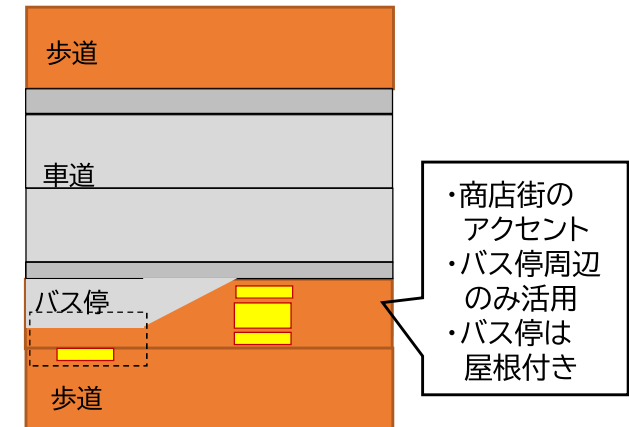
④ ポケットパーク案



- ・阿波銀行は駐車場があり、路肩部分に駐車する必要が無い。
- ・商店街の中心(銀行前)にはバス停がある。
- ・建替えにより、アーケードが撤去が想定される。
- ・建物が下がる場合は、商店街の中心に空間が広がる。

- ・バス停は、人が溜まる場所
- ・歩道のポケットパーク化
空いた空間に何を置くか？
(路上設置パーツのイメージ)
- ・車道をずらし、路肩を歩道化
- ・全てをすると駐車場が確保出来ない
- ・座れる場所と、くつろげる空間を作っておく
- ・さらに充電でも出来れば最高だが…

平面図



路上設置パーツのイメージ



- ・ベンチがあれば、人は座る
- ・留まることが、新たな購買への可能性となる

座るところがあると、人は溜まる
～たまりの空間～
人がいると、まちの雰囲気が変わる



都市軸・大道銀天街を考える

③2つの東西の都市軸

大道銀天街 道路改良案イメージ

現在の商店街中央部



電柱の地中化



※ あくまでもイメージであることをご了承下さい。

- ・空への抜け感
- ・ごちゃごちゃ感が無くなり、全体的にすっきりとしたイメージ
- ・店前の阻害感も少し解消される
- ・車道の広さが突出される

店舗の建替えやアーケードの撤去があると・・・

- ・大きな解放感が商店街中央部で発生
- ・さらにすっきり感が増すと同時に、空白感が出される、それが賑わっていないと思わせてしまう
- ・街並みが単調さが強調されるイメージ

↓
賑わいを醸し出すには、良いアクセントを与える必要



そこにポケットパークを整備



改良案イメージ図

- ・路肩を狭めて植樹による緑の意識化を図り、1アクセントを演出
- ・ポケットパークを設けて、まちなかに「たまり」を生み出す

ハードの改良が、新たな商店街へのイメージへ
将来改修に向けたコンセプトを決めておくことも必要では？

都市軸・斎田鳴門駅線を考える

○ 現在の通りの状況



【現在の状況】

- 片側2車線の幅広道路、中央に市内循環バスのバス停
- 阿波踊りの際は車道に演舞場
- 西側は黒崎バイパスと接続しているが、東端側は軌道敷があるため、方向を北へ転換
- 店舗や銀行が立地するも、閉店している店舗もある

【第3回での課題】

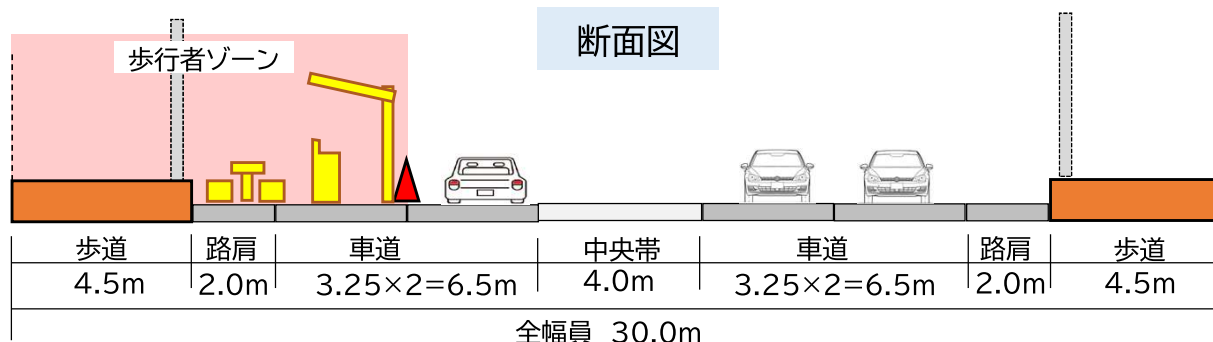
- 車道は2車線必要か？
- 東端での国道との未接続が、流れが停滞の原因では？
- 駅から人を流す方法が何なのか？

ソフト・ハード両面からの
仕掛けでシンボルロードへ

① 屋台・マルシェ案

人通りを呼び込みたい

道路を有効活用したい



- 普段は車道の部分を一部歩道に変更し、歩道を溜まり・賑わい空間として活用
- 商店街との回遊型のエリアを作り出す
- 横に並ぶ屋台は、夜になれば福岡市中洲のようなイメージに…



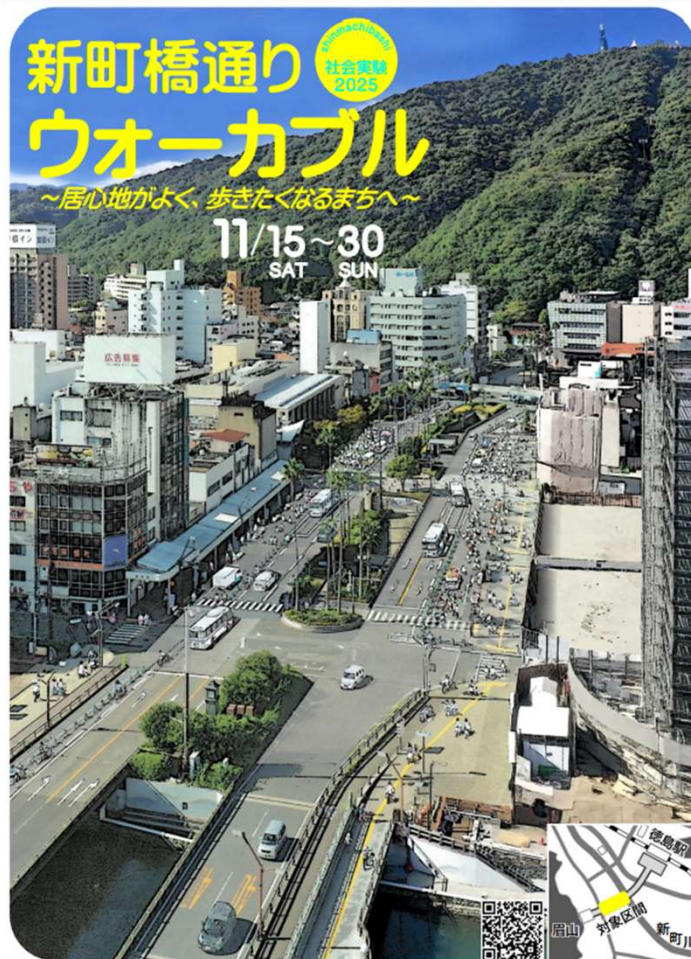
街角マルシェイメージ

歩きたくなる空間づくりの実験的 first step

都市軸・斎田鳴門駅線を考える

徳島市での事例

ウォーカブルな空間づくりへの取り組みとして、車道の一部を歩道に変更し、滞留・にぎわい空間を創出する社会実験を、新町橋通り(国道438号)で11月15日～30日まで実施



※イラストは社会実験のイメージです。実際とは異なる場合があります。

徳島県・徳島市



通常時

- ・当道路は、徳島駅から眉山ふもとの阿波踊り会館へ抜ける、徳島市のメインストリートであり、期間中の滞留・賑わい空間では、週末ごとにマーケットやキッチンカーなどのイベントを実施
- ・今後の道路空間の使い方について、本実験を踏まえて検討



社会実験により歩道拡大

実施団体：徳島県・徳島市



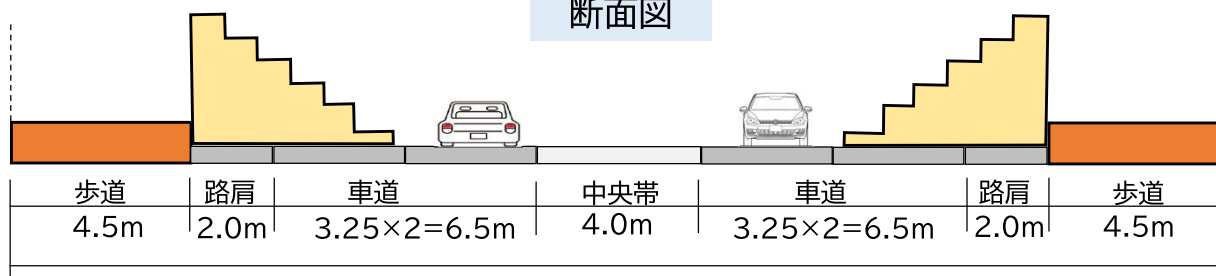
都市軸・斎田鳴門駅線を考える

演舞場を伴う阿波踊り会場のため、歩車道の改修は困難かも

② 阿波踊りVer

まちのイメージを変えてみたい

断面図



全幅員 30.0m



舗装を変えることで逆に阿波踊りロードへと変貌



カラー舗装



インターロッキング化

開催イメージ



現在



インターロッキング化(イメージ)

インターロッキングブロック

石畳のようにパーツを並べる
コンクリートの敷材による舗装
デザイン性・耐久性にメリット

当該区間で非日常を演出することにより、
「鳴門の阿波踊り」のバージョンアップを図る

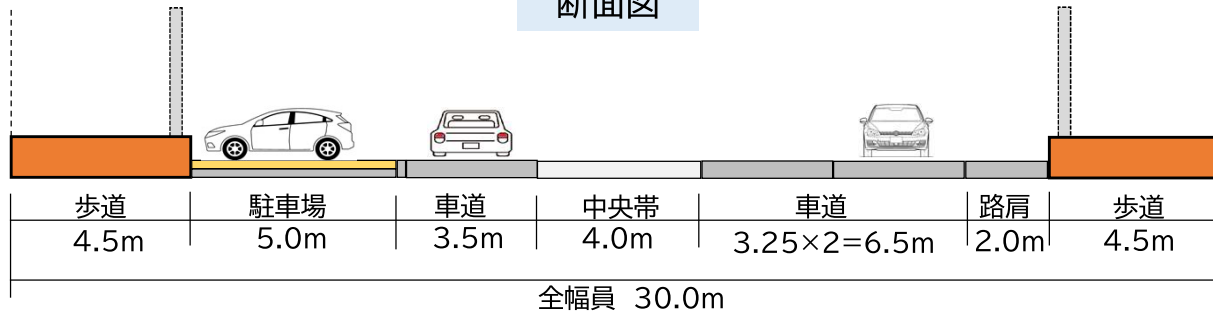


都市軸・斎田鳴門駅線を考える

③ 駐車場案

道路を有効活用したい

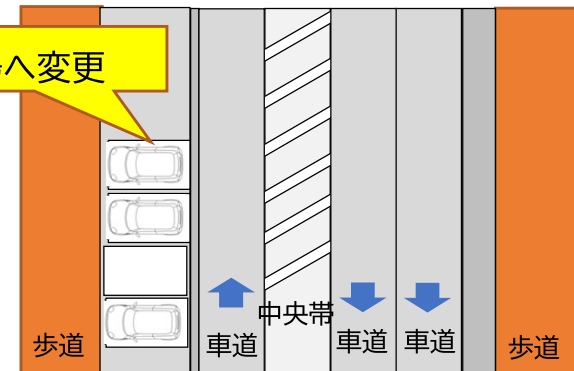
断面図



南側の2車線を1車線減少させ、駐車場へ変換。
周辺一帯への利用時に使える駐車場とする。

平面図

駐車場へ変更

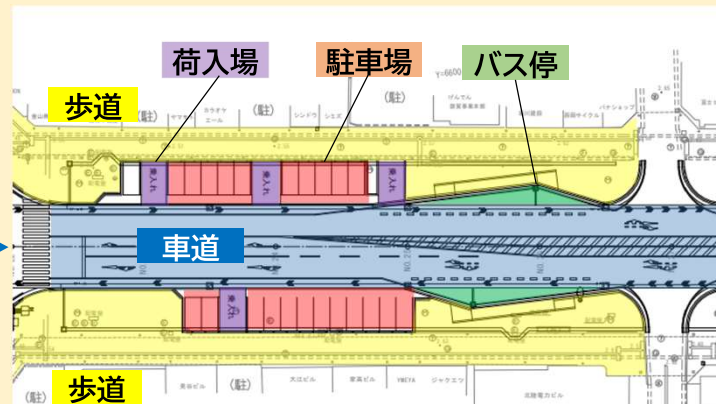
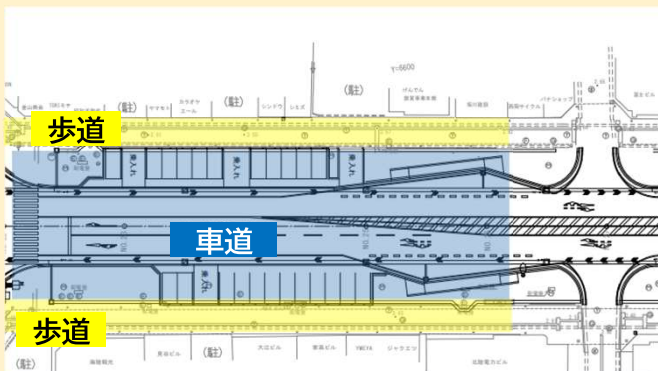


歩車道の活用多元化、
まちのイメージアップ
として検討すべき

広い車道を駐車場に変え、フリンジパーキングの役目を担う

【先進地事例】 近畿地方整備局：国道8号道路空間再整備

4車線を2車線に変更し、歩行者の安全性を高めるとともに、賑わいを創出する歩行空間を実現



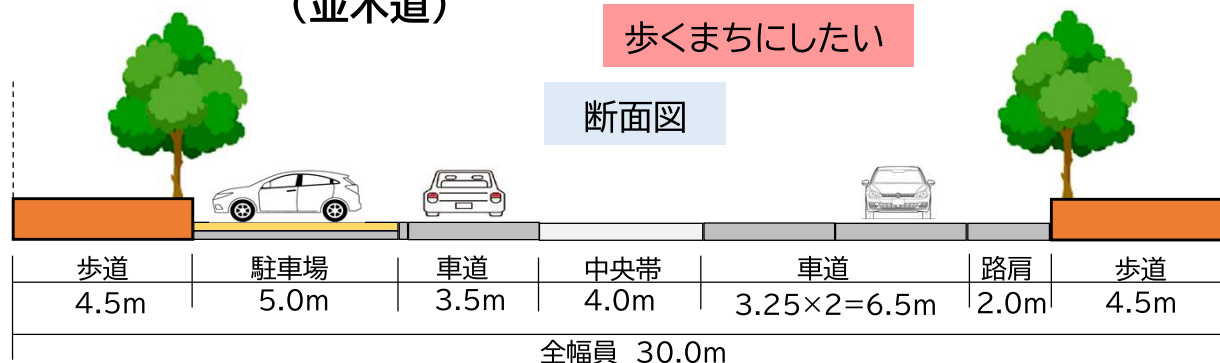
都市軸・斎田鳴門駅線を考える

④ 駐車場+シンボルロード案 (並木道)

まちのイメージを変えてみたい

歩くまちにしたい

断面図



- ・歩道には、桜が植えられている。
- ・中間部にある汽車公園も桜が植えられている。

桜並木による
通りの魅力向上

国立市



徳島市



新居浜市



メイン通りを再整備した事例



並木道の効果

並木道のメリット

- ① 景観の向上: 自然との調和で洗練された印象を与え、地域の魅力の向上が図られます。
- ② 都市の認知向上・観光促進効果: 魅力向上による都市価値の向上とともに、周辺商業施設への経済効果が生まれる可能性がある。
- ③ 精神的な癒し効果: 全性向上: 自然との触れ合いを通じて人々に癒しを与える。

並木道のデメリット

- ① 維持管理の負担: 剪定・消毒・落葉対策など管理コストがかかる。
- ② 住民への利害: 樹木により花粉症が害虫などが懸念される。

現在



桜並木化



価値向上が活性化へと繋がるか

撫養川の活用を考える

川沿い空間の良さ

水辺の視界の良さ・開放感

風が流れる心地よさ

遊歩道などの散歩のしやすさ

まちづくりに
活用したい

① 都市軸の延伸・都市軸の交差 川沿いに人の流れを呼び込みたい

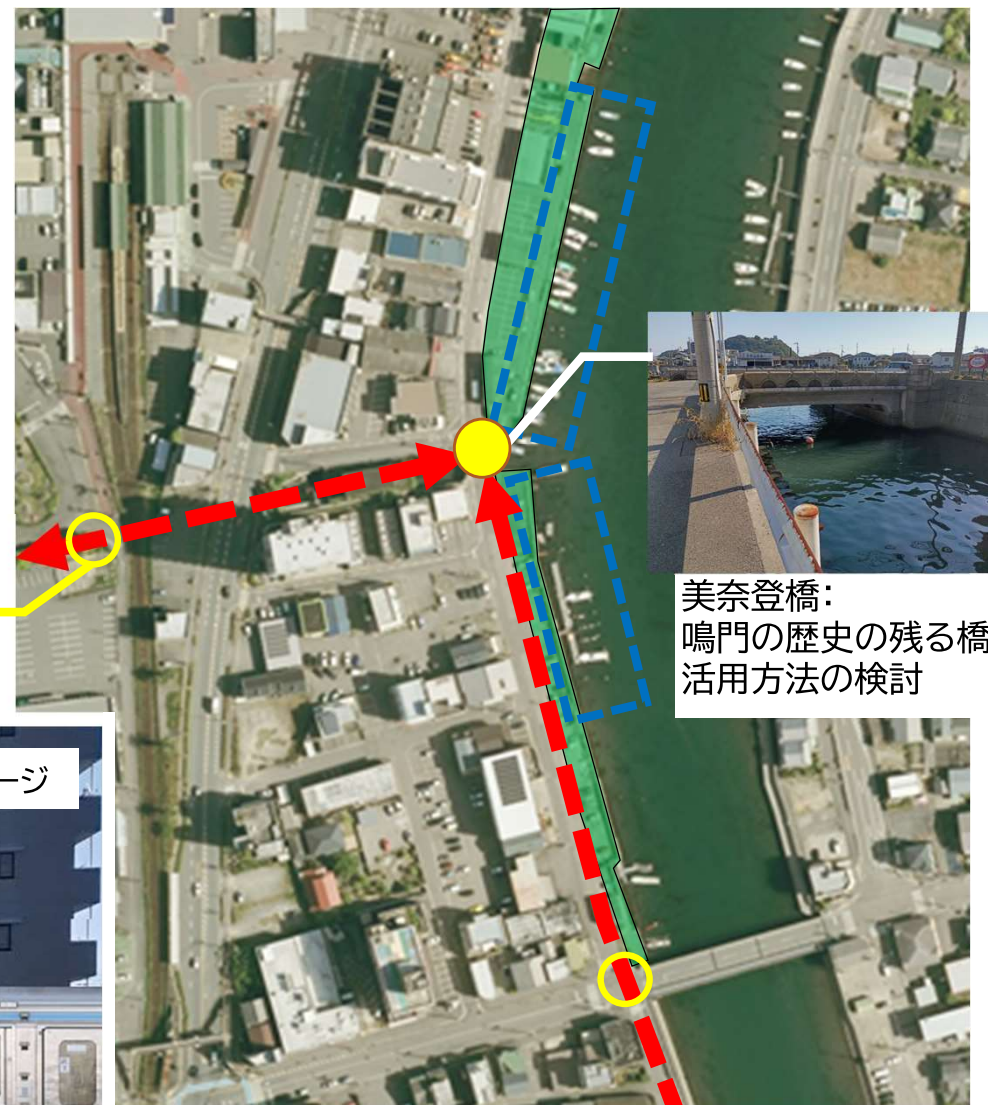
コアから川へ新たなメインロードを構造軸として通す
→ 都市軸が川に繋がri、駅～川の近接感を作り出す。

現況



軌道敷～撫養川 130m
国道～撫養川 90m

延伸イメージ



美奈登橋：
鳴門の歴史の残る橋
活用方法の検討

新たな軸の結束点をつくり、
撫養川へまちエリアを広げる

撫養川の活用を考える

もっと川を使いたい・川で遊びたい

② 撫養港拠点施設の整備

陸と海や川が繋がる部分に拠点施設を設け、水上交通や水辺空間を利用する人を、迎え入れることの検討を進める。

例えば...
 土佐泊への渡船 周遊クルーズ
 SUP(サップ) 港湾イベント



福岡市



大阪市

課題点 ・川沿いは臨港地区に指定され、県が管理
 ・荷揚げ等のみに目的が限定されている。
 ・小型船が暫定係留として利用している。



ウォーターフロントとしてのエリアビジョンの企画
 民間事業者・港湾関係者を含んだ協議会の設置
 港湾関係者等と規制緩和に向けた協議・ルール作り

陸と海がつながる、鳴門市らしさを創り出す

人通りを呼び込みたい

街のイメージを変えたい

③ 近接する地区のリノベーション

撫養川沿いの2つの東西軸に挟まれたゾーンは、居住者が減少し、駐車場へと変わった部分が多い。このゾーンをリノベーションとして重点的にまちづくりを進めることにより、新たな賑わいの創出を図る。



所有者と利用者を繋いで、そのスキームを広げる、地域を限定し、集中したリノベでまちのイメージを変えていく



撫養港から文明橋区間の状況

古いと新しいが混ざり合うリノベーション空間

撫養川の活用を考える

もっと川を使いたい・川で遊びたい

人通りを呼び込みたい

③ 東浜第二公園の再整備

水辺空間の再整備

老朽化したポンツーンや遊歩道について、修繕等を図ることにより、川辺を親しむ空間づくりについて県と協議を進める。



+

未利用区域の再整備

利用されていない西側の市有地部分の老朽化した建物を除却しを再整備について検討を進める。



ゾーンを繋ぐ賑わい空間

中心市街地の2つの中心をつなぐ中間地点としてくつろげる空間へ改良

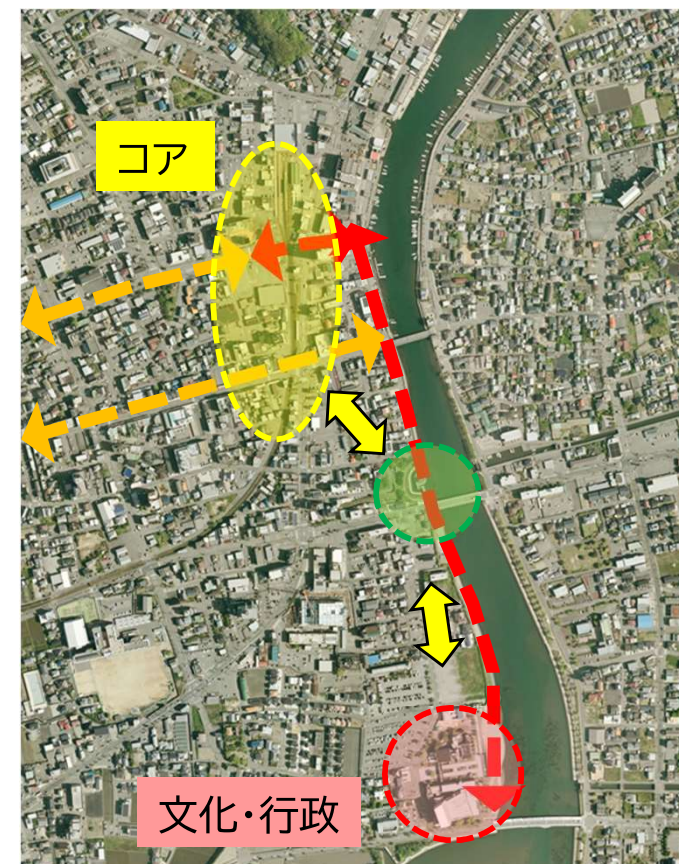


想定エリア図



イメージ図

水辺を使った憩いの空間へ
リニューアル



コア

文化・行政

街なかでの社会実験



まちなか「たまりば」社会実験

社会実験の目的

「放課後に勉強できる場所が欲しい」

「友達と気軽に集まれる場所がない」

これは、今年度を実施した中高生へのアンケートで寄せられた多くの声です。鳴門の未来を担う若者たちは、いま「自分たちの居る場所」を求めています。

そこで、この声をそのまま終わらせるのではなく、実際に空間を具現化する社会実験を行います。「ちょっと寄りたくなる居場所」をつくり、若者がどう集まり、どう過ごすのかを検証していきます。



市役所フリースペース（3F）
学生が勉強などに使用

例えば・・・

空き部屋などの仕様・内装等を変更

社会実験運用

期間中にイベント等を実施

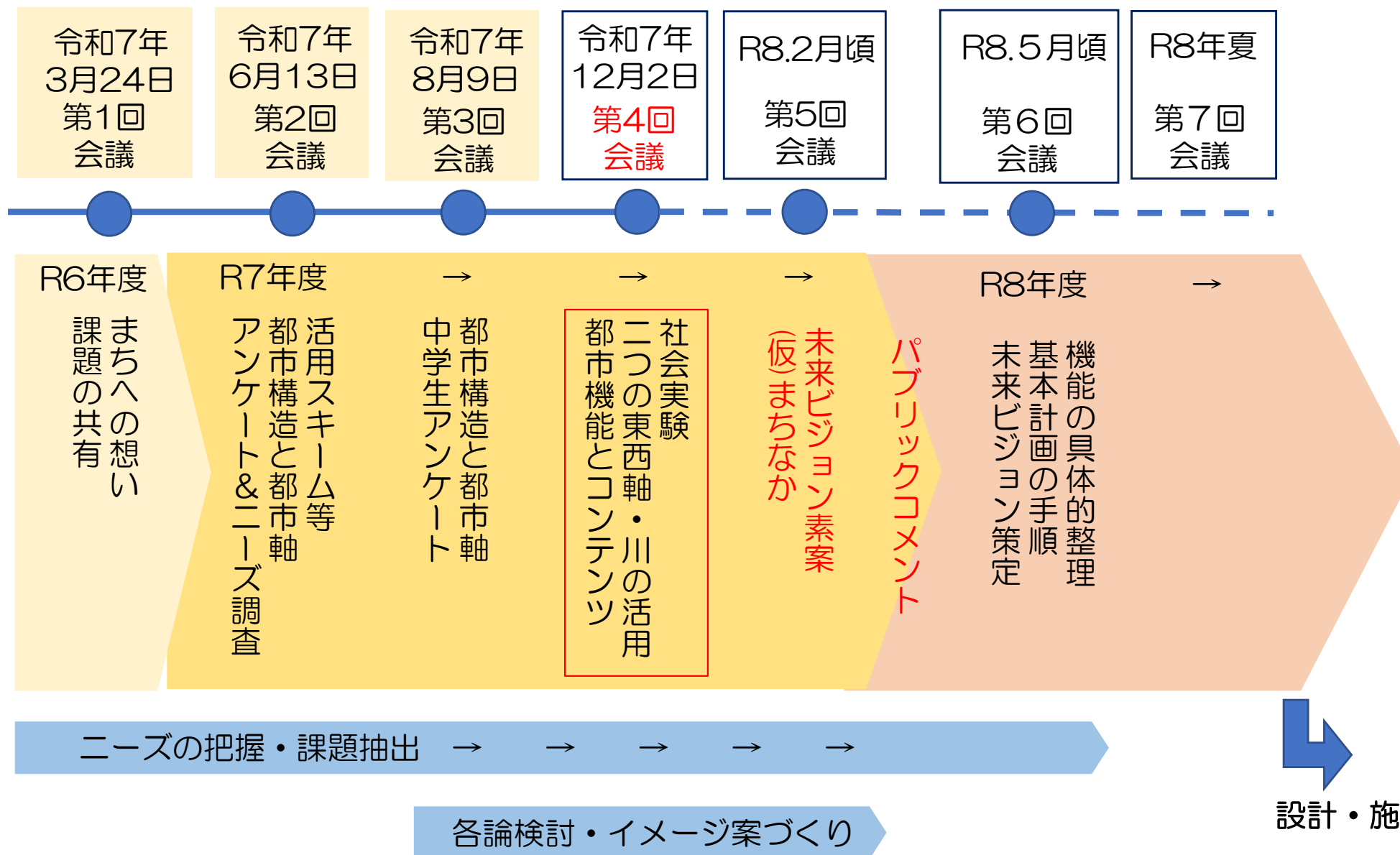
結果分析、ブラッシュアップ検討

中高生を主たるターゲットとして放課後などに
たまり、会話し、勉強を行う場所を実験的に整備

将来の駅前・エキナカ施設の1ピースと
成り得るコンテンツへと育てていく

実施想定場所：商店街空き店舗・鳴門駅前観光案内所
駅前周辺空き地及び駐車場

デザイン会議 ロードマップ案

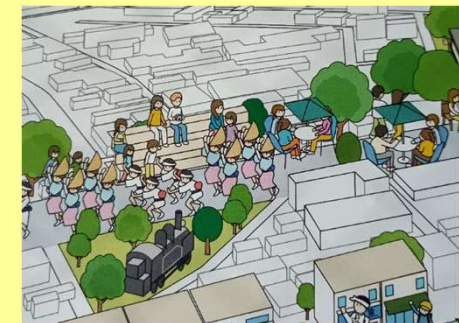


次回会議(第5回)の概要

鳴門市まちなか未来ビジョン素案の提案

未来ビジョンとは・・・ エリアの将来像を官民の多様な人材が共有できるようイメージ化

- アウトライン案
 1. 未来ビジョンについて
 2. まちの現状と課題
 3. まちのめざす姿・方針・目標
 4. エリアビジョン（商店街・駅前・撫養川周辺等）
 5. まちのイメージ図（共有するイメージパース）
 6. 今後の展開について
- 未来ビジョンの策定
 - ・ 第5回会議にて素案を提案
 - ・ 素案のパブリックコメント実施
 - ・ 第6回会議にてパブリックコメント意見の提示未来ビジョンの策定



ビジョンイメージ例

第5回会議は令和8年2月に開催予定です。

鳴門市まちづくりデザイン会議

